



ドル/円週別レポート

ドル円の概要

ドル円の週足チャートを分析する。コロナが流行した2020年から円安がすすみ、数十年来の大相場となった。ウクライナ紛争の勃発によって、世界的なインフレが進み、円安に拍車をかける事態となったことが背景にある。ドル円は2022年10月に151.950円付近の高値を付けた。週足チャートで意識されているのは、2021年1月の安値を基点とするフィボナッチリトレースメント、上昇トレンドラインである。日銀が長期金利上限を拡大した影響で127.220円まで下落した。これはフィボナッチリトレースメントの50%に該当する価格で反応していることが確認できる。



2023/05/22~2023/05/26の予測

現在は138円台で推移している。今後の目先上値は23.6%に該当する140.20円付近と予想する。また、5月の節目価格としては142.09円も大きな抵抗帯となると予想する。米債務上限問題が進展せず、マーケットはリスク回避か、リスク選好か、結果が出てから動くだろう。142円台を突破すると、ストップロスを巻き込んで上昇する可能性がある。

ドル円の日足分析



240日移動平均線を上回っており、RSIも59となっているため、緩やかな上昇基調となっている。

一目均衡表では「三役好転」となっているため、上昇を示唆している。

240日移動平均線が今後、支持線として機能するかどうか焦点。

週間予想レンジ	134.63～141.30円
主要抵抗線	<ul style="list-style-type: none">140.420円138.35円

主要支持線	134.49円
-------	---------



海外FX大学

Foreign FX University

本レポートは、投資判断の参考となる情報提供を目的としております。投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資方針や投資時期等の最終判断および決定は、お客様自身の責任で行ってください。本レポートは、あくまでも予想であり、その結果を保証するものではありません。本情報を元にした結果のいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。